

演題名	管内における山羊関節炎・脳脊髄炎の発生状況と防疫対策		
発表者氏名	矢彦沢小百合	所属	伊那家畜保健衛生所
<p>2002年8月、日本初の山羊関節炎・脳脊髄炎(以下CAE)が県内で発生。1991年から2002年の間に発生農場及びCAE抗体(以下抗体)陽性農場から管内へ導入された疫学関連個体のうち、5戸(A~E)18頭の立入調査及び抗体検査を実施。その結果、3戸(A~C)12頭が抗体陽性、このうち2戸(A、B)3頭が臨床症状を呈し、抗体陽性農場に対して、抗体陽性山羊の隔離飼育及び計画的な自主淘汰等を指導。うち1戸(B)2頭は鑑定殺し、2頭とも関節炎及び肺炎等の所見を確認。他の2戸(A、C)10頭は、繁殖に供さず、順次自主淘汰の予定。抗体陽性山羊と同居した山羊3戸(A、C、D)5頭全てが抗体陰性。一方、抗体陽性山羊の産子2戸(A、C)5頭全てが抗体陽性で、初乳を介した感染と示唆。今後、本病の侵入・まん延防止を図るため、繁殖山羊飼養農場全戸を対象に浸潤実態の把握と繁殖期前の抗体検査が必要と考察。</p>			